

モニターレポート(1月報告)

【報告内容①】

松浜漁港下流部の港の様子

風浪などで多量のゴミが集まっています。多分、掃除をしてもイタチごっこでゴミも多くなったり、減ったりするのでしょうか。付近の砂の様子には余り変わった様子が有りませんでした。

〈事務所からのコメント〉

松浜漁港の下流の河川の様子についてですが、阿賀野川の出水や日本海の風波でゴミが漂着します。阿賀野川に流れ着いた流木などは、時間をかけてきれいになっているところです。

【報告内容②】

私の担当地区で冬期間河川の景色を見ようとする人は、私のようにモニターの仕事をしている者以外はいないようですね。個人的には、信濃川ウォーターシャトル(株)と提携して、冬の河川巡りでも企画したらどうでしょうか。

〈事務所からのコメント〉

「ウォーターシャトルによる冬の河川巡り」は興味深い提案です。普段堤防などから見ている川の様子とその川の中から反対に見る景色には新たな発見があるかもしれません。

信濃川では「ウォーターシャトル」、阿賀野川の上流には「奥阿賀遊覧船」や「阿賀野川ライン舟下り」があります。また明治時代までは新潟市の周辺は「河川蒸気」など舟運の盛んな地域でした。

今後、阿賀野川の下流部でも地域の皆様が気軽に舟による河川巡りができるようになると良いと思います。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

1月2日(月)

正月のせいもあり土手の道路の交通量も少ないです。あまりに回りが静かで川の音しか聞こえませんでした。冬の公園は寂しすぎます。何か人を呼び込むイベントを阿賀野川河川事務所主催で出来ないものかと思います。

例えば沢海地区、満願寺地区と協力して地場の冬野菜を使用した鍋祭り(野菜鍋、野菜のポトフ等です)

冬を逆手に取り、新潟の他の市町村や他県からも人を呼び込むイベントを開催すれば良いと思います。(阿賀野川河川事務所が何をしているのかを告知する絶好の機会だと考えます)

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川の河川敷を利用した公園も、冬になり、雪が積もるとほとんど利用されなくなります。雪や寒さで、利用する人が少なくなるようです。ご提案のように、地域の皆様とともに冬場でも楽しめるイベントが開催できるよう、今後の参考にさせていただきますと思います。

【報告内容④】

阿賀野川水辺プラザには、何という鳥かわかりませんでした。数種の鳥が見られました。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川に生活する鳥は、景色を構成する大切な物の一つです。阿賀野川が持つ多様性や豊かな自然環境のため、大変種類が多いことが特徴です。水面や水際で生活する「サギ」、「白鳥」や「カモ」、砂利や砂地に生活する「シギ」や「チドリ」の仲間、河川敷の草地に生活する「ヒバリ」や「キジ」、アシ原や林を使う「ヨシキリ」の仲間や「カッコウ」など、四季折々、120種類以上という実に様々な鳥が観察されています。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容⑤】

1月12日(木)

今日は、この冬一番の冷え込みだと思えます。道路は、酷い凍結状態でした。

1日で3件の事故を目撃しました。

ガードレールの無い早出川、阿賀野川沿いの凍結時の道は非常に怖いです。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川や早出川の堤防道路からの自動車の滑落について、報告をいただきました。阿賀野川、早出川の堤防道路も凍結しており、自動車で通行するときは、一層スピードを落として安全運転を心がけたいものです。

また、阿賀野川及び早出川堤防上の道路に、ガードレールが無いということですが、ガードレールは水防活動の妨げになることから、河川管理者としては、原則として認めていません。

【報告内容⑥】

平成23年7月末の新潟・福島豪雨被害がでた阿賀野川流域について五泉関係を報告致します。

五泉市咲花から阿賀町岩屋にかけての3.7キロでは、今後水量が増えると見込まれることから、約30億円をかけて対策工事を実施する。川底を深く掘り下げたり、堤防をかさ上げしたりするなどの工事の予定となっております。

〈事務所からのコメント〉

当所管内の阿賀野川でも平成23年新潟・福島豪雨により、阿賀野市法柳地先、嘉瀬島地先、渡場地先(2箇所)、小松地先、五泉市清瀬地先の計6箇所で堤防漏水や護岸欠壊、渡場床固護床工流失(護床ブロック)などの被災を受け、直轄河川災害復旧事業の申請を行っていましたが、この度、6箇所約5億9千万円の採択を受けました。今後は、被災箇所の早期復旧に努めてまいります。

※複数のモニター報告を要約してあります。